

令和7年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3	学年	2年	類型	ビジネスコース
教科書	All Aboard English Communication Ⅱ (東京書籍)			副教材	All Aboard English Communication Ⅱ WORKBOOK(東京書籍)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				知	思	主		
1 学期	4	Pre-Lesson	今年やってみよう	◎	○		学習のねらい 説明文やメールの文章、エッセイなどを読み、書かれている情報や考えについて理解を深めます。また、文法知識として、1学期は関係代名詞what、比較表現moreやthe mostについて、2学期は、itの用法や間接疑問文について、3学期は、to不定詞を含む表現について学習します。	
		1 A Colorful Island	ブルーノ島		◎	○		
			関係代名詞what	○		◎		
	5		海外で行ってみたい場所	◎	○			
		Let's Listen 1	ホテルにチェックイン		○	◎		
		Communication 1	病院で診察	中間考査	◎	◎		
		2 With the Beatles	サムのリクエスト	◎	○			
	6		比較表現		◎	○		
			世代を超えて人気のある人物		○	◎		
			ペアでの会話		○	◎		
		Word Box 1	反対の感覚・感情	期末考査	◎	◎		
	7	3 Wild Men	ワイルドマンの世界	◎	○			学習の目標 英語コミュニケーションⅠにおける指導内容を踏まえて、幅広い話題について聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
		itの用法		◎	○			
		身近な行事		○	◎			
2 学期	8		診断テスト	◎	◎			
		文法のまとめ1	比較表現		○	◎		
			規則変化、不規則変化	◎		○		
	9		itの用法		◎	○		
			語句の並べ替え練習		○	◎		
			対話練習	中間考査	◎	◎		
	10	4 A Little Hero	ハチドリのはずく	◎	○		知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。	
			自分の好きな物語		◎	○		
			自分の疑問を伝える		○	◎		
			関節疑問文	◎	○			
	11	Let's Listen 2	世界自然遺産	◎	○		思考・判断・表現 外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	
		Extra target 1	現在完了進行形		○	◎		
Word Box 2		一日の生活を表す英語	◎		○			
12		一日の出来事を表現する		○	◎			
		期末考査	◎	◎				
	5 Special Makeup in Kabuki	歌舞伎メイクの物語		◎	○			
	Word Box 3	身体と衣服の英語		○	◎	主体的に学習に取り組む態度		
3 学期	1		診断テスト	◎	◎	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。		
		Reading 1 Mujina	登場人物の感情をとらえる		◎		○	
		文法のまとめ2	関節疑問文	◎	○			
		to不定詞を含む表現		◎	○			
	2	6 Seeds to Future Generations	伝統野菜を未来につなぐ	◎	○		備考	
			動詞の目的語になるif節		◎	○		
			ペアでの意見交換		○	◎		
			地元の有名な場所やもの	学年末考査	◎	◎		
	3	Word Box 4	職業を表す単語	◎		○		
			就きたい職業と理由		◎	○		
一年間のまとめ		復習及びまとめ		○	◎			

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のコツ—こつこつがんばろう】

- 英語は日本語と同じように言葉です。「英語を分かるようになろう」という強い気持ちを持ってください。
- コ英 I で学習した内容を土台として、新たな知識を上乗せしていきます。
- 本文、新出語彙は範読をよく聞き、何度も自分で実際に声に出して読むことを心がけてください。
- 英語を英語のまま理解することを心がけましょう。英語の構文が自然と理解できます。
- 読解に必要な語彙を習得する必要があります。分からない単語の意味等確実に覚えると長文も楽に読むことができます。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。英文を読む上では必ず必要になります。
- 勉強した内容を実際に声に出してみましょう。コミュニケーションする上で発話は必要不可欠です。
- テレビやラジオの英語番組、インターネット、字幕で映画を見ることなどで楽しく英語を学べます。毎日できるだけたくさんの英語を聞きましょう。

【授業】

- 週に3時間の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ①新出単語・熟語の意味や発音を確認します。
 - ②本文の内容を確認します。
 - ③本文の音読をします。
 - ④重要構文、文法事項を学習します。
 - ⑤練習問題、ワークを解きます。
- 前時に指示された課題を確実にやり、必ず予習をして授業に臨んで下さい。
- ノートをきちんととり、学習内容を明確に把握することで、学習内容の定着を図るとともに定期考査前の再確認につながります。
- 毎時授業に出席するのはもちろん、真剣に学習に取り組み、積極的な発声、挙手など意欲的な姿勢で授業に臨んで下さい。
- 週に1回、Weekly Testを行います。このテストは考査の範囲にも含まれます。

【家庭学習】

- その日のうちに宿題を済ませ、授業の復習をしておく、記憶が長持ちします。
- 英語は予習の教科とされています。次回学習するLessonの分からない単語を調べ、和訳を必ずしておきましょう。授業で復習するつもりでしっかり予習しておく、授業内容がよく理解できます。
- 課題テスト実施前はテスト対策の学習を必ずして下さい。
- 復習として、授業で学習した範囲の音読をすると耳からも学習できます。

【定期考査】

- 授業で学習した内容の復習が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、文法事項、新出語彙などを再確認しましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均